

学校内で確認する

入学前に伝える情報の 抜け漏れチェック

募集要項があるかではなく、学生が理解でき、学校の次の担当へつながるかを確認します。

学校名 _____

確認担当 _____

学生が最初に確認する情報

確認	項目と確認内容	結果
☐	募集要項 対象となる入学期、募集人数、申込方法が一つの場所に分かる	確認 要修正 対象外
☐	学費と生活費 納付額、時期、返金条件、想定生活費、誰が支払うかを説明できる	確認 要修正 対象外
☐	入学条件 教育歴、日本語学習歴、年齢などの基本条件を確認できる	確認 要修正 対象外
☐	必要書類 本人、家族、学校、勤務先の誰が準備する書類が分かる	確認 要修正 対象外

相談から受け入れへ渡す情報

確認	項目と確認内容	結果
☐	相談窓口 連絡方法、対応言語、学校が返答する範囲が明確になっている	確認 要修正 対象外
☐	面接 確認する目的、準備物、結果の伝え方を説明できる	確認 要修正 対象外
☐	出願 提出、確認、差し戻し、完了の状態を担当者間で共有できる	確認 要修正 対象外
☐	受け入れ担当 相談経緯、本人の目的、学校判断を聞き直さずに引き継げる	確認 要修正 対象外

判断の境界

仕組みに任せる

学校一次情報の案内、相談前の確認、記録の共有

学校が担う

本人との対話、面接、受け入れ可否、教育方針

確認メモ _____
